

# お母さんの携帯電話

小学校 五年 **三田** み た **泰雅** たい が

今年の夏休み

ぼくはお母さんにめっちゃおこられた  
おこられている途中で

携帯電話が

「プルプルプル…」

と鳴った

携帯電話を耳に当てたお母さん

そのとたん

「ハイ 三田です。」

よそ行きの声

急に変わったテンション

ぼくは

「ありがとう。お母さんの友達。」

と心の中で思った

電話が終わると

静かにご飯を作り出したお母さん

ぼくが

「今日のご飯は？」

と聞くと

「ハンバーグ。」

と優しく答えてくれた

あれ？きげんが直ったみたい

携帯電話一つで

こんなに変わるなんてすごすぎる

これからもタイミングよく鳴ってくれよ

お母さんの携帯電話